

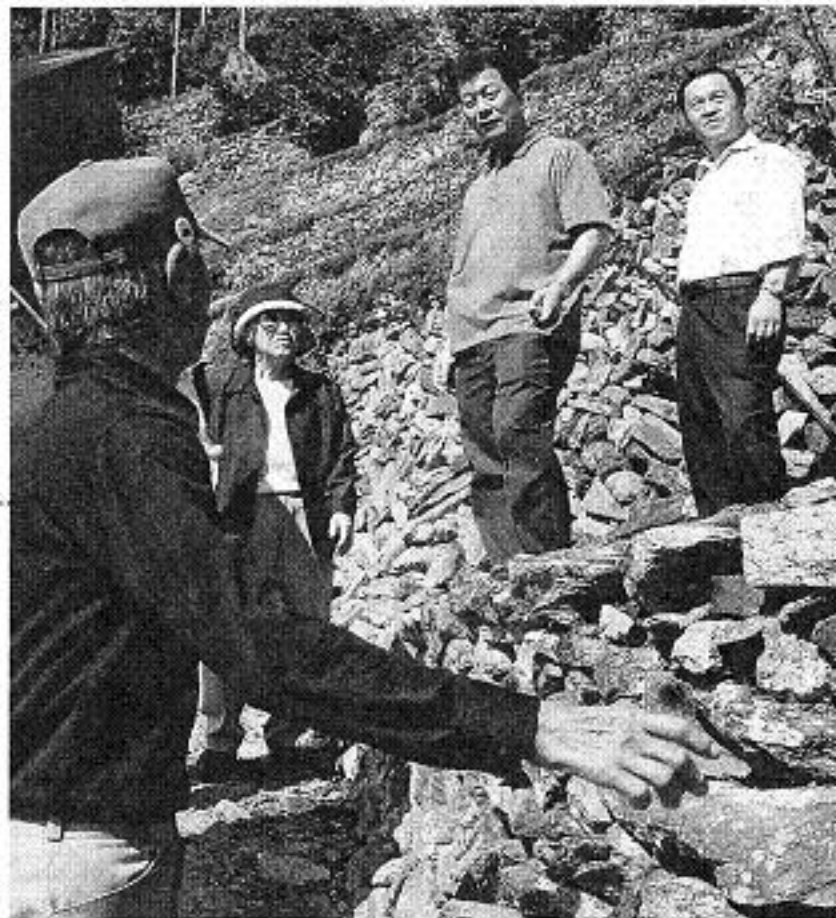
愛媛の住民らが視察

イベント活用や修復学ぶ

美郷・高開の石積み

「古里」の活性化策探る

吉野川市美郷大神に、三百年以上前に築かれた段々畑の石積み「高開の石積み」を、愛媛県愛南町外泊地区の住民らが視察した。外泊地区には石積み町の町並みが残っており、石積みを生かした地域活性化策を探るのが狙い。



高開の石積みを視察する愛媛県愛南町の視察団＝吉野川市美郷

石積み職人の高開文雄さん（モモ）ら二人が、視察団二十人に石積みの修復の仕方や見どころを紹介。夏と冬に行うライトアップ、大学生を対象にした石積みワークショップなどのイベントについても説明した。

視察団によると、外泊地区は「日本の美しいむら農林水産大臣賞」を受賞したが、観光の中心は磯釣り。石積みはまだ十分生かしていないという。

外泊で民宿を経営する古田清一さん（五）は「美郷では観光従事者だけでなく、さまざまな立場の住民が協力して石積みを守っていて、感心した」と話した。